

(様式第4号)

第9回 武石地域協議会 会議概要

1 審議会名	武石地域協議会
2 日時	令和7年12月11日(木) 午後7時から午後8時5分まで
3 会場	武石地域自治センター3階 大会議室
4 出席者	橋詰会長、大島委員、北原委員、児玉委員、小山委員、近藤委員、桜井委員、佐藤委員、芝野委員、中原(健)委員、樋沢委員、渡辺委員 【欠席委員5名】
5 市側出席者	酒井武石地域自治センター長、鈴木地域振興課長、岩下産業観光課長、小松武石地域教育事務所長、下村地域総合調整幹、田中地域政策担当係長、佐藤地域担当主査
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	1人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和7年12月12日

協 議 事 項 等

1 開 会 (会長)

2 あいさつ (会長、センター長)

3 報告事項

- (1) 上田市過疎地域持続的発展計画(案)に係る市民意見募集手続の実施について【事前資料 1】
(事務局説明)

【質疑等】

(会 長) 計画期間は、令和8年度から令和12年度までの5年間ということだが、期間中に計画に記載されている事業を実施するということか。

(事務局) 計画に記載されている事業を5年間で全て実施できるということではない。過疎地域として取り組んでいく内容として想定される事業について計画に記載しており、いざ事業を実施する際に、計画に記載していることが前提になるため、計画に記載がないと計画変更が必要になることから、できるだけ幅広い分野で想定される課題に基づく事業を計画に記載している。基本的にはこの内容に沿って具体的な事業計画を立てて実行していく。

(会 長) 具体的な事業計画は、決定した段階で地域協議会に説明があるか。

(事務局) 事業を実施していく際には、予算の計上や、複数年度にわたる事業などの実施計画により要望を上げ、全庁的な合意を得て実施していく。過疎対策事業債など武石地域で活用できる有利な財源がある。地域協議会には、年度当初に予定する事業の一覧を示すなど、情報共有を行いながら事業を進めている。

(会 長) 今回のパブリックコメントに具体的に記載すれば、より具現化されやすい流れになっているか。

(事務局) あまり細かい事業というよりも、おおもとの計画になるため、例えば計画に記載がないけれども、こういうことに過疎対策として取り組んでほしいというというような意見をいただければと考えている。細かい事業を挙げられても、すぐにできる・できないとは回答できないため、これから武石地域をどういうふうに魅力的な地域として進めていったらいいかという視点で考えていただきたい。

(会 長) 委員それぞれの立場で考えることも多いと思うので、ぜひ今回のパブリックコメントに意見を出していただきたい。

(委 員) 全国や長野県内に過疎地域があり、それぞれ地域を盛り上げていくために取組を進めているが、長野県としても過去に様々な手立てをすることでカンフル剤になるような事業があると思うが、採用されやすい分野はあるか。

(事務局) これまで取り組んできた実績についても幅広い分野にわたっており、採用されやすい分野というものはない。計画の項目立てについても国から示されており、さらに長野県が策定する長野県過疎地域持続的発展方針に基づいて上田市過疎地域持続的発展計画を策定しており、中身はそれぞれの市町村の実態に合わせている。長野県及び上田市としても特定の分野に注力してということではなく、想定される課題を解消するための取組を盛り込んでいる。また、それぞれの分野で上田市として取り組んでいく別の計画も策定しているため、それぞれの計画に基づいて取り組んでいる。

(委員) 計画案「本編」で見え消しとなっている箇所は、次期計画から削除されるということか。

(事務局) 計画案「本編」の下線の箇所については、現計画から内容を見直して新たに追加したものや、計画策定から4年経過しているため実態に即した内容に書き換えているものになる。見え消しの箇所については、削除項目として修正している内容となっている。

(委員) 武石地域では、デイサービスやグループホームの休止が発生している。ヘルパーの職員が高齢化しており、社会福祉法人依田窪福祉会のヘルパーの職員は6人で武石地域と長和町を支えている状態である。介護にならないよう予防していくことを全国的に力を入れているのは重々分かっているが、武石地域の介護の資源というかサービスが減っている中で、武石地域の方は丸子地域や長和町に行かないと介護サービスが受けられない現状である。過疎計画は5年間の計画であるが、今から5年後を考えると、団塊の世代が80代となり90代に近づき、介護の資源がますます難しくなると見えている。その中で、介護予防は当然大事であるが、介護が必要になったときに武石地域にはいられない。依田窪病院との連携や武石診療所がいくら頑張っても、生活を支える部分の職員がいなくなっていることを考えると、介護の資源を支えるような事業の充実や、介護予防だけではない部分を過疎対策事業債で助けてもらえるヘルパー事業などがあればありがたい。上田市では「認知症とともに生きるまち・うえだ 希望都市宣言」を制定しているので、グループホームに近いような認知症のサポートができる事業内容があるといいと思う。

(事務局) 皆さん御存知のとおり少子高齢化の進行が著しい中で、武石地域は過疎地域に指定され、特に厳しい状況である。介護サービスの関係については、武石地域自治センター内でも情報共有しており、重点的に取り組んでいかなければいけない課題でもあるので、医療との連携も含め、色々な立場で皆さんから意見をお聞きする場面も出てくる。この場では御意見としてお聞きし今後の参考にさせていただき、パブリックコメントにも意見を出していただければと思う。

武石地域自治センターでも総合的な窓口をやっているが、子育てや高齢者などの分野については本庁担当課に確認してもらい計画の修正をしている。いただいた御意見は今回の計画案には記載されていないと思うが、計画に盛り込むかどうかについては、武石地域センターだけというよりも本庁担当課で判断するようになるので、御承知おきいただきたい。

(会長) 計画案「本編」では、見え消しとなっている箇所があるので、不安になると思う。

(委員) 計画案を見てきれいにまとまっていて驚いている。一つ引っかけっており、表題が上田市過疎地域「持続的発展」計画となっているが、「維持」が目標になっている。日本全国で仕方ないと思うが、先ほどの介護サービスの話もそうだが、どうやって生活していけばいいか先行きが不安である。「発展」は難しいと思うが、本当にうまく維持できればいいと思う。人口動態を見ると、どうしても上田市の中の武石地域は人が少な過ぎて人も増えていないが、上田市街地は増えている。スマートシティという聞こえのいい横文字がよく出てくるが、先々どうなのかという不安がある。

(事務局) 御指摘のとおり目標に掲げている数値は「維持」となっている。目指すところは非過疎地域、過疎地域からの脱却であるが、この施策をすれば絶対に活性化できるというものでもないので、皆さんの御意見を聞くとともに、地域の状況も考慮しながら、できることを取り組んでいく。もちろん行政だけで成り立つものではないので、住民の皆さんにも現状を改めて認識していただき、御協力をいただきたい。住みよい武石をつくる会の活動でも御協力いただいているが、共に武石地域を少しでも魅力ある地域としていければと思うので、引き続き御協力をお願いしたい。

4 協議事項

(1) 第7回 地域協議会協議内容の確認について【事前資料 2】

- ・委員からの意見、質問なし

5 その他

○「命と平和の学習 戦後 80 年 私と戦争を語り継ぐ会」【チラシ】(委員説明)

(委員) 住みよい武石をつくる会子育て教育文化部会の主催で、12月21日(日)午後1時30分から3時30分まで、武石地域総合センター1階コミュニティホールで開催する。戦後80年ということで上田市でも色々な事業が開催されているが、「私と戦争を語り継ぐ会」と題して、依田窪南部中学校生徒による上田市広島平和学習訪問の参加報告、武石地域に住んでいるお三方による「私と戦争」と題した語りを行うので、ぜひ御参加いただきたい。

○令和7年度 美ヶ原高原観光バス運行事業について(報告)【当日資料 3】(事務局説明)

(事務局) 運行期間は7月26日(土)から9月15日(月)までの土日祝日18日間、運行本数は1日4便(2往復)掛ける18日で全72便。時刻表と運賃は以前に説明したとおり。運行実績は、利用者数は延べ1,117人、1便平均15.5人、最大利用便は8月30日(土)8時35分の62人。バスは34席あり最大70人ほど乗車できるが、片道90分と長いため、34人を超えた場合は増便対応した。傾向として、土曜日に美ヶ原高原に行く利用者が多かった。委託費用451万円余から運賃収入211万円余を引いて事業者への支払額は約240万円であった。今年度の課題や反省を生かしながら、引き続き令和8年度も実施していくよう予算要求している段階である。

○武石温泉 うつくしの湯改修工事の進捗状況等について(お知らせ)【当日資料 4】(事務局説明)

(事務局) 9月11日(木)開催の第6回武石地域協議会で、うつくしの湯改修工事に係る9月補正予算や工期の説明をしたが、その後の進捗状況等の周知については、12月16日の定期達達で自治会回覧を予定している。なお、回覧の内容は11月28日(金)開催の令和7年武石地区自治会連合会第3回自治会長会でも説明した。変更内容としては、工事期間を「令和8年1月5日(月)まで」から「令和8年3月5日(木)まで」と2か月延長する。営業再開日は、令和8年3月1日(月)を予定しており、遅くなってしまうが、御了承いただきたい。

資料はないが、関連でお願いしたい。うつくしの湯の再オープンに合わせてという形になるが、地域住民の方の福祉の充実及び施設の利用促進のため、山を管理している武石財産区が上田市合併と同時に発足してから20周年を迎え、上田市誕生20周年記念と合わせて、武石財産区の松茸山の公売や材木の売払い収入などによる基金を活用し、武石地域の住民の皆さんに温泉券を配付する事業を実施する。この事業にかかる経費については、12月市議会において補正予算として、準備にかかる印刷代や郵送代を計上している。議会の議決後に事業を進めて、各世帯に一人当たり温泉券1枚を来年3月末頃にお送りする予定である。武石財産区のお金を住民の皆さんに還元する事業を進めていくので、再オープン後に温泉券を使って、うつくしの湯を利用していただくよう、御承知おきいただきたい。

○「上田市誕生20周年記念 第53回ふれあい・人権の集い2025」【チラシ】(事務局説明)

(事務局) 上田市誕生20周年記念として、12月13日(土)午後2時から、丸子文化会館セレスホールで開催されるので、御都合がよければ、ぜひ御参加いただきたい。

(1) 第10回 地域協議会の日程について

日時：令和8年1月8日（木） 午後7時～

場所：武石地域総合センター3階 大会議室

【質疑等】

(会 長) 武石公園の東屋の東側にある人道橋の修繕は、過疎対策事業債を活用しているか。

(事務局) 人道橋は建設から30年ほど経過し床板が老朽化して危険なため、上田市から働きかけ、武石建設業協会の協力を得て、丸子修学館高校工業分野専攻の生徒さんに協力いただき、床板の張替えと鉄部塗装の塗替え作業を行い、12月8日（月）に完成した。材料代など経費はかかっているが、財源に過疎対策事業債は活用していない。産官学連携事業で進め、きれいになったので、機会があれば、ぜひ御覧いただきたい。

(会 長) 武石公園のさつき橋の改修はいつ頃になるか。

(事務局) さつき橋も同様に老朽化しており、現在通行止めとなっている。具体的にいつ改修できるかは決定していないが、改修の方向で進めていかれればと考えている。

6 閉 会（会長）